

令和6年一級建築士試験「設計製図の試験」合格基準等について

1. 合格基準等

一級建築士試験「設計製図の試験」は、「与えられた内容及び条件を充たす建築物を計画し、設計する知識及び技能について設計図書等の作成を求めて行う。」ものであり、その合否判定における令和6年試験の「採点のポイント」、「採点結果の区分」及び「合格基準」は、次のとおりである。

採点のポイント	<p>(1) 空間構成 ①建築物の配置・外構計画、②ゾーニング・動線計画、 ③要求室等の計画、④建築物の立体構成等</p> <p>(2) 建築計画 ①建築を学ぶうえで、参考（教材）となるような建築物の計画 ②学生や教職員の多様性への配慮及びユニバーサルデザインに配慮した計画 ③学生間の交流や学生と教員の交流の場に配慮した計画</p> <p>(3) 構造計画 ①基礎免震構造の特性を踏まえた計画 ②講堂の構造計画</p> <p>(4) 設備計画 ①学生や教職員の帰宅困難者の一時滞在に配慮した計画 ②屋上に設置する設備機器等の計画</p> <hr/> <p>※ 設計条件・要求図面等に対する重大な不適合 ①「要求図面のうち1面以上欠けるもの」、「面積表が完成されていないもの」又は「計画の要点等が完成されていないもの」 ②図面相互の重大な不整合（上下階の不整合、階段の欠落等） ③次の要求室・施設等のいずれかが計画されていないもの 製図室、研究室、会議室、ラウンジ、ゴミ保管庫、講堂、教室、図書室、カフェ、事務室、防災備蓄倉庫、受水槽室、消火ポンプ室、エレベーター、PS・EPS、屋上庭園、車椅子使用者用駐車場</p> <p>④法令の重大な不適合等、その他設計条件を著しく逸脱しているもの</p>
採点結果の区分（成績）	<p>○採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。 ランクⅠ：「知識及び技能」*を有するもの ランクⅡ：「知識及び技能」が不足しているもの ランクⅢ：「知識及び技能」が著しく不足しているもの ランクⅣ：設計条件及び要求図書に対する重大な不適合に該当するもの *「知識及び技能」とは、一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。</p> <p>○なお、採点の結果、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのそれぞれの割合は、次のとおりであった。 ランクⅠ：26.6%、ランクⅡ：1.5%、ランクⅢ：23.9%、ランクⅣ：48.0%</p> <p>○受験者の答案の解答状況 ランクⅢ及びランクⅣに該当するものが多く、具体的には以下のようなものを挙げる ことができる。 ・設計条件に関する基礎的な不適合：「階段の不成立」、「要求室・施設等の特記事項の不適合」等 ・法令への重大な不適合：「道路高さ制限」、「延焼のおそれのある部分（延焼ライン）の明示と防火設備の設置」等</p>
合格基準	採点結果における「ランクⅠ」を合格とする。

2. その他

試験問題及び標準解答例は、(公財)建築技術教育普及センターのウェブサイトに掲載する。